

◆第 11 回 テーマ別読解演習「友達・友情」①／物語文

今回は物語文の学習で、テーマは友達・友情です。人と人とのつながりを意識して読みましょう。また、場面、心情の変化、暗示・象徴を意識して取り組んでください。特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

- ㊦ 問四 理由の記述問題です。七十字以内の説明なので、くわしく書きましょう。
- 問六 いままでのできごとをおさえましょう。心情は一つではありません。複数存在することもあります。確認しておきましょう。
- 問十 二つの気持ちがあるということは、主人公は2つのものに視点が向いています。
- ㊦ 問四 動作から心情を読み取る問題です。「押し流し」と対応するものを選びます。
- 問五 問四と同じ問題ですが、「押し流し」ではなく「飲んだ」になっています。この違いも意識して考えましょう。
- 問九 今回のテーマに関する問題です。
- 宿題 問二 どんなできごとがあったのかを、うまくまとめましょう。
- 問九 まずは選択肢の意味をおさえましょう。今回のテーマに関する問題です。

◆第 12 回 テーマ別読解演習「友達・友情」②／物語文

前回に続き、今回も物語文の学習で、テーマは友達・友情です。人と人とのつながりを意識して読みましょう。また、場面、心情の変化、暗示・象徴を意識して取り組んでください。特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

- ㊦ 問一 具体化する記述問題です。できごとをしっかりとおさえましょう。
- 問二 理由の記述問題です。傍線部のような心情になったのは、どんなできごとがあったのかをまとめましょう。
- 問六 今回のテーマに関する問題です。
- ㊦ 問三 登場人物の心情を会話を手がかりにして正確に取り取ります。
- 問七 理由の記述問題です。できごとをしっかりとおさえましょう。
- 問八 場面分けは、まず「時間・場所」を手がかりに分けます。
- 宿題 問五 比喩を具体化する問題です。
- 問九 作者の言いたいこともおさえながらまとめます。

◆第 13 回 テーマ別読解演習「友達・友情」③／物語文

前回に続き、今回も物語文の学習で、テーマは友達・友情です。人と人とのつながりを意識して読みましょう。また、場面、心情の変化、暗示・象徴を意識して取り組んでください。特に注意してほしい

問題は、以下の通りです。

㊦ 問三 「おめでたい」の意味を確認しましょう。

問六 比喩表現を具体化する問題です。

問八 暗示・象徴の問題です。いままでの出来事と照らし合わせて考えましょう。

㊦ 設問はすべて記述問題になっています。難問もありますが、何が問われているかをしっかりとおさえましょう。

問一 比喩表現を具体化する問題です。

問三 この文章の主題をおさえて考えてみましょう。

問五 暗示・象徴の問題です。いままでの出来事と照らし合わせて考えましょう。

宿題 問三 理由記述の問題です。

問四 理由記述ですが、できごとだけでなく心情も書きましょう。

◆第14回 入試問題研究②

今回は入試問題研究です。入試問題を解くのですが、時間を計って、解答用紙に書き込みます。入試問題なので、難問に時間をかけ過ぎずに、問題選定をしながら解く実践的な学習をします。解答には配点を書いてあるので、WEBを見ながらマルつけをして、得点も出してみましょう。

㊦ 問二 接続語の問題です。それぞれの接続語の働きをおさえましょう。

問三 熟語の組み立ての基本をおさえましょう。

問十 筆者の主張をおさえて考えましょう。

㊦ 問七 様子を表す言葉をいれる空欄補充の問題です。このような擬態語はほかにもありますので、確認しておきましょう。

問八 「笑いの意図」を聞く問題です。「意図」はねらいという意味です。

問十三 設問の条件が多いので、しっかり整理整頓してから考えましょう。

宿題 問四 傍線部の中に指示語がある場合は、その内容を具体化しましょう。

問六 「ふいになって」の意味を確認してから考えましょう。

いよいよGWもはじまり、5年生の学習のペースにも慣れてきたことと思います。日々の学習を大切にして、しっかりとがんばってください。学習のリズムをしっかりとつかみ、日々の課題に取り組むスケジュールは確立させていきましょう。くり返しになりますが、この講座をより深く理解するためには、本科教室をきちんと理解することが必要です。この基礎にあたる部分を大切にして、取り組むようにしてください。

動画の構成としては、まずは「例題」が各回3～4題収録されています。例題は動画を見ながら解法の手がかりとなる考え方を習得してください。例題の次には、練習問題として、例題の数値替えの問題が収録されています。機械的に数値を入れ替えて答えを出すのではなく、もう一度解法を確認しながら取り組むようにしてください。練成問題は、例題から派生した問題を中心に収録しています。このうち、例題から少し離れるタイプのうち、特に重要なものを動画で扱っています。各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第11回 数論Ⅳ

かけ算の性質を利用する回となります。すべての基本は九九にあります。初心に帰ってがんばっていきましょう。

①「例題と練習問題」

例題1－素因数分解の利用

いきなり、どんな整数の積なのかを考えることは難しいですね。そこで、素因数分解が登場します。イメージができる数が並ぶと、考えも進みますね。

例題2－倍数の見つけ方①

2、3、4、5、6、8、9の倍数の見つけ方は必ずおさえてください。7の倍数の見つけ方もありますが、実際に7で割った方がはやいことが多いです。

例題3－倍数の見つけ方②

18の倍数の見つけ方を独立して覚えることは大変ですね。 $18=9\times 2$ と考えて、「9の倍数のうち、2の倍数」の数を考えていきます。このように、組み合わせることで、さらに幅が広がりますね。

例題4－かけ算の性質

37の倍数の見つけ方は特にはありません。実際に筆算をかくことで、状況が見えてきます。やはり、基本は九九になります。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第12回 数論V

分数をテーマにした回となります。分数は約数、倍数と深い関わりがあります。また、分数は比例の関係がかくれています。この視点から問題に取り組むと、いろいろと見えてくることもたくさんあります。

①「例題と練習問題」

例題1－分数の大小

通分をして大小をくらべることにはなりますが、あくまでも、大小関係がわかればよいので、最小公倍数にそろえる必要はありませんね。

例題2－最大公約数、最小公倍数の利用

積が整数となるためには、「約分して分母が1になる」ことが条件です。そのためには、分子・分母にはどんな数がこないといけませんか？

例題3－素数の積に注目

当然ですが、 $A = 1$ ではありませんね。もとの分数を約分した結果が「 $\frac{1}{588}$ 」となったわけです。

もとのそのためには、どんな数で約分したのかを考えていきましょう。

例題4－既約分数の個数と和

いきなり、約分できない分数を考えるのではなく、約分できる分数を考えてみましょう。そうすると、倍数の個数について考えるのと同じになりますね。また、個数と和はセットで問われます。しっかりと理解しましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第13回 平面図形Ⅰ

複合図形の求積がテーマです。考えをすすめるアプローチは4つあります。例題で確認していきましょう。また、図形問題は、着目する図形によって過程が異なります。答えがあっていたらもう終わりという姿勢ではなく、他の解き方がないかな？と思いながら取り組んでみましょう。

①「例題と練習問題」

例題1－「分割してから加える」

三角形の底辺と高さの関係をしっかりと理解して取り組みましょう。

例題2－「大きな図形から、いらぬ部分を取り除く」

全体はどんな図形で、いらぬ部分はどんな図形？補助線を利用しながら取り組んでいきましょう。

例題3－「等積変形」

形は異なるが、面積が等しい部分を移動させて、面積を求めやすくします。特に、三角形のときによく使用されます。

例題4－「等積移動」

合同な図形を、他のところに移動することで、面積を求めやすくします。斜線部が複数あるときに、よく使われる手法です。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第14回 平面図形Ⅱ

第13回で、複合図形の面積の基本的な解法は学びました。今回はさらに発展させて、どんな視点をもって取り組めばよいかを学びます。しっかりと理解を深めて、平面図形を得意にしていきましょう。

①「例題と練習問題」

例題1－同じ部分を加えて考える

同じ部分を加えた「和も等しい」ことを確認してください。この考え方は、「差」を問われたときにも使いますので、理解を深めておきましょう。

例題2－半径が具体的に分からないときの円の求積

「円の面積＝半径を1辺とする正方形の面積×円周率」でも求めることができます。半径が具体

的にわからないときは、半径を1辺とする正方形を作図して、対角線はわからないかな？と考えてみましょう。

例題3 ー円に接する正方形、正方形に接する円

円も正方形も内側に入っていくと、面積は半分になっていきます。この考えを使うと、1つの円、1つの正方形の面積がわかれば、他の円・正方形の面積もわかりますね。

例題4 ー作図

動くことができる範囲をきちんと調べるのが大切です。そのとき、「半径」と「中心角」を意識しながら取り組んでいきましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。